

回思亞國兴閩

第 37 号

2022 年 8 月 12 日 〒113-8462 頁 03-584

国民春闘共闘委員会

夏季一時金 最終(第4回)集計

単純平均 1.83 ヵ月 566,386 円、加重 627,965 円

国民春闘共闘委員会(全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成)は8月4日、最終(第4回) の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2022 年	2021 年同期	
回答引き出し組合	1,293	1,334	
うち 有額回答	1,236(95.6%)	1,270(95.2%)	
うち 妥結組合	693(53.6%)	754(56.5%)	

<回答内容>

集計方法&対	象	2022 年回答	2021 年同期	同期比
単純平均	月数	1.83	1.80	0.03
	額(円)	566,386	515,731	50,655
加重平均	額(円)	627,965	700,139	-72,174
	組合員数	233,671	121,298	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

			うち前年実績以上	ち前年実績以上 22年回答		実績比
単純平均	月数	924	754(81.6%)	1.86	1.83	0.03
	額(円)	436	331(75.9%)	584,959	556,174	28,785

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用·時給制	再雇用·月給制
単純平均 -	月数	0.756	1.130	0.521	1.114
		(0.793)	(1.222)	(0.768)	(1.234)
	額(円)	42,860	205,509	57,873	131,426
		(42,350)	(160,451)	(19,750)	(120,930)

- ※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。
- ※言葉による回答は平均などの計算から除いています。
- ※非正規の仲間の回答状況のかっこ()内は、昨年最終集約結果

く集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

8月4日の夏季一時金第4回集計には、3pの別表の29単産・部会から報告が寄せられました。1,293組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は1,236組合となっています。

回答内容

回答月数が判明している 1,143 組合での単純平均(一組合あたりの平均)は 1.83 ヵ月で、前年最終 (21/8/5、1.80 ヵ月)を 0.03 ヵ月上回っています。回答金額が判明している 526 組合の単純平均は、 566,386 円で前年同期(515,731 円)を 50,655 円上回っています。また加重平均(組合員一人あたりの 平均)は 627,965 円となっています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な 924 組合の単純平均を前年実績と比べると、1.86 ヵ月で、前年実績(1.83 ヵ月)を 0.03 ヵ月上回っています。額では 265 組合の単純平均で、584,959 円で前年実績(556,174 円)を 28,785 円上回っています。

非正規で働くなかまの回答状況

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、4p の別表の 11 単産 259 組合から 398 件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、270 件の獲得報告となっています。月数報告のあった 174 件の単純平均は 0.756 ヵ月で、前年最終 (0.793 月)をじゃっかん下回っています。金額報告のあった 127 件の単純平均は 42,860 円で、前年最終 (42,350 円)を 510 円上回っています。(額と率は連動しません)

月給制労働者では95件の獲得となり、単純平均は1.130ヵ月・205,509円となっています。

時給制の継続雇用者では、14 件の引き出しとなり、単純平均は 0.521 か月・57,873 円となっています。月給制の継続雇用者では 18 件の引き出しとなっています。単純平均は 1.114 ヵ月・131,426 円となっています。